

令和3年度

災害時における 外国人への支援セミナー

共催：一般財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR)

地震や水害、新型コロナウイルス等の感染症発生時における外国人住民を取り巻く状況を踏まえ、支援のための仕組みづくりなどについて理解を深めます。また、災害時において、外国人住民を含めた多様な主体との連携や、地域防災のあり方について考えます。

研修の ポイント

- 日本で暮らす外国人は国籍、在留資格、年代などの多様化が進展しており、コロナ禍で新たな課題も生じています。また新型コロナウイルス感染症の収束後には、訪日外国人数の増加も見込まれます。
- 近年の災害における事例から、防災に関する国や自治体の動向や対応について学びます。
- 外国人住民も参加する様々な団体やボランティアとの連携による地域防災活動について学びます。
- 外国人の避難行動や避難生活で求められる配慮等について、地域で話し合い、災害への備えを進めておく必要性について学びます。

※「災害時における外国人への支援セミナー」修了者は、別途総務省が実施する「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」の受講が可能となります。詳細については、総務省自治行政局国際室 (TEL03-5253-5527) までお問い合わせください。

開催要領

日 程

令和3年9月27日(月)～9月29日(水) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 市区町村・都道府県職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員
- 地方公共団体や地域国際化協会と協働して地域の国際化(多文化共生)に取り組むNPOまたはNGOで地方公共団体または地域国際化協会から推薦を受けた団体

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

70人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

6,950円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修費3,900円)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、10,850円です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年8月13日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集 (<https://www.jiam.jp/doc/>) に掲載しております。
NPO、NGOの職員の方がお申込みいただく場合は、受講推薦書が必要になります。
受講申込書(受講推薦書付き)は、JIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年
9月
27日(月)

- 11:00~ 入寮受付・昼食
12:30~ 開講・オリエンテーション
- 13:00~14:10 **講義** **これからの外国人住民との協働による地域防災を考える**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
様々な災害現場で外国人への支援をされてきた田村氏から、災害時の外国人の状況や支援の必要性についてお話しいただきます。また、支援の対象だけでなく、担い手としての外国人への視点から、協働による地域防災のあり方についてお話しいただきます。
- 14:25~15:35 **演習** **自己紹介・情報交換(事前課題共有)**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
グループ討議を行うにあたり、グループのメンバー同士の自己紹介を行うとともに、事前課題をもとにメンバーそれぞれの自治体や所属する団体における取組状況を全体で共有します。
- 15:50~17:00 **演習** **グループ討議**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
外国人住民も参加しながら、様々な団体との連携で実施する地域防災事業について、グループで議論するテーマを話し合います。
- 17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和3年
9月
28日(火)

- 9:25~12:00 **事例紹介**
①札幌災害外国人支援チーム「SAFE」の結成や災害多言語支援センターの運営
公益財団法人札幌国際プラザ 大高 紡希 氏
②地域とつながる防災イベント
別府シールド/立命館アジア太平洋大学言語教育センター 特任講師 石村 文恵 氏
③災害時の外国人支援 ~令和2年7月豪雨を事例に~
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
(コーディネーター:田村 太郎 氏)
災害発生当時の経験や、外国人住民が主体となって参画する地域防災の取組についてお話しいただきます。
- 13:00~14:30 **講師との直接対話**
公益財団法人札幌国際プラザ 大高 紡希 氏
別府シールド/立命館アジア太平洋大学言語教育センター 特任講師 石村 文恵 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
(コーディネーター:田村 太郎 氏)
3つのグループに分かれ、事例紹介を行っていただいた3人の講師の方に直接質問を行ったり、意見交換を行います。
- 14:45~17:00 **演習** **グループ討議**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
講義や事例紹介、前日の情報交換の内容を踏まえ、災害時における外国人支援に関する課題を抽出し、その対応策についてグループで議論します。
- 17:00~ **課外学習**

令和3年
9月
29日(水)

- 9:25~12:00 **演習** **グループ討議報告会**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
グループ討議で議論した内容を発表し、講師からアドバイスをいただきます。
- 13:00~14:10 **演習** **ふりかえり**
特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
研修で学んだことを地域での取組への足掛かりとするために、研修全体のふりかえりを行います。
- 14:10~14:40 **研修アンケート記入、閉講**

- 本研修は、全日程を(特活)多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事田村太郎氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。
- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- (一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。
 - ① 地方公共団体に属する職員 …… 研修費(3,900円)を助成
※ 地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっていますので、ご注意ください。
 - ② ◆ 地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員
◆ 地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体または、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員 …… 研修費(3,900円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成
- ※ 詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。
電話:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742
ホームページ:http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html E-mail:tabunka@clair.or.jp

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

この様式によらない研修もありますので、それぞれの研修案内ちらしをご確認ください。

FAXでのお申込みは矢印の方向に 令和3年度 受講申込書

研修名 及び時期	受講申込開始日まではお申込みできません。申込開始日はホームページをご確認ください。 令和 年 月 日 () ~ 年 月 日 ()				
市区町村 コード番号					※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例: 12345-6の場合、123456と記入)
団体名	都道府県			市区町村 組合	
所在地 (受講決定 通知送付先)	〒		-		申込み手続の 担当課名
					担当者名
					電話番号
					FAX番号
					e-mail アドレス
研修期間及びその前後 の休日・夜間の 緊急連絡先	所属電話番号				※休日・夜間に連絡がつく電話番号(所属長等)を記入
	受講者 電話番号				※所属の電話番号から伝達可能な場合は「同上」と記入
	メール アドレス				※所属あるいは本人に連絡がつくアドレスのどちらかを記入
受講者	所属				
	職名(補職名)				
	職階 (○印を記入/必須)	1部長級 2課長級 3課長補佐級 4係長級 5主査級 6主任・主事・技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。			
	ふりがな				
	氏名				
	年齢 (研修開始日現在)	歳	性別	男 ・ 女	
	本研修関連職務の通算経過年月数(研修開始日現在)			年	か月
	研修の受講や寮生活で身体的配慮等が必要な方はご記入ください。				
特記事項	NPO等の方は、団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。 上記の他、研修案内ちらしの申込方法欄をご確認いただき必要がある場合はご記入ください。				
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。 令和 年 月 日 団体の長の職 氏名 全国市町村国際文化研修所学長 あて 公印省略可					

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。

研修終了後、14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症された場合には、休日・夜間に限らず、上記緊急連絡先に連絡しますのでご了承ください。

なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

FAX: 077-578-5906